

意見要約

意見番号	意見者番号	意見の要旨	町の考え方	計画の修正
1	1	<p>不登校の対策について 子どもの数は減っているが不登校はますます増加しており、今や社会の問題として捉える必要がある。今後に向けて町でどのような支援が整っていくのか？ 町では不登校の子どもたちと支える家族の苦しさをどのように受け止め、また現場で尽力されている先生方をどのようにサポートしていくのか。 不登校ではないものの現在辛い気持ちで登校している子どもたちの事も踏まえ、まずはこれまでの対策を評価すると共に今後の支援について検討する機会をぜひ設けてほしい。</p> <p>第二次寒川町教育振興基本計画（案）では、支援の骨子は教育相談とあり、その他のページに並ぶ文言もすでに行われているものが並んでいるのみである。</p>	<p>9ページの基本方針において、学校教育を支える【5つの柱】をお示しています。</p> <p>この度の第2次寒川町教育振興基本計画の改定では、この【5つの柱】に加え、教育活動全体を通じてウェルビーイングの向上を目指すことを明記いたしました。</p> <p>ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念であります。</p> <p>これは、不登校やいじめ、貧困など、子どもたちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人ひとりのウェルビーイングを確保することが大切であるという考えのもと新たに定めております。</p> <p>不登校対策からの視点では、不登校児童・生徒を抱える保護者についても子どもたちと同様に大きな不安を抱えていることを重く受け止め、大人も気軽に相談できるよう、心理相談員の拡充を行いました。また、大人が目線では些細なことと思うようなことにも不安や恐怖を感じる子どもや、様々な特性のある子どもたちも増えていることから、子どもたちが相談しやすい環境づくりの一貫として、町内全ての小中学校にスクールカウンセラーを配置しております。このことで、子どもたちにとっては、学校の中にいる大人の一人として認識され、気軽に相談しやすい環境を整えております。また、スクールカウンセラーよりも、子どもたちにとって身近な教員が一人ひとりの児童・生徒と向き合い、寄り添う時間を確保していくための「教職員の働き方改革推進事業（新規事業・詳細は24ページ参照）」の実施など、不登校を含むこれらの多様化する教育的ニーズ・相談に対応していけるよう、さらなる改善に向けて包括的に取り組みを進めていくことをお示しております。</p>	<p>原案のとおり</p>

意見要約

意見番号	意見者番号	意見の要旨	町の考え方	計画の修正
2	2	<p>外国語教育の教科化について 小学生の時期に外国語教育の教科化とあるが、まだ母国語である日本語が不十分な世代に外国語を学ばせるのは日本語能力があいまいになり、コミュニケーション能力不足になるのではと危惧している。</p> <p>グローバル化、グローバル社会になっていく事が想定されているならば、尚更、自国について認識、理解を深めるためにも、確かな日本語教育が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>また、グローバル社会とありますが、どのような将来を想定しているのか、不明瞭であると思います。</p> <p>海外、外国での仕事を想定するのであれば、ひと学年にその選択をする児童・生徒はどのくらいいるのでしょうか？大学へ進学せず地元で働きたい、伝統的な事を身につけたいと考える児童、生徒もいるのではないのでしょうか。</p> <p>今回の基本計画を見ていると、その様な働き方の自由の選択を奪いかねないと思いました。</p>	<p>外国語教育の教科化は「他者と主体的に関わり合い、自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための言語運用能力を育てる」ことであると捉えております。</p> <p>そのため、実際のコミュニケーションを重視し、聞く・話すを通して英語を使える力を育てているところであります。コミュニケーション能力の育成は、子どもたちが将来の選択肢を広げる意味で、大きな役割を果たします。</p> <p>外国語でコミュニケーションがとれることで、世界中の人と仕事や交流をし、自分の想いを自分の言葉で伝えられるようになります。また、他国の映画・音楽・文学などの文化を原語で深く味わい比べることで、自国へのより一層の理解や愛着へとつながると考えております。</p> <p>さらに、「図書館活動の充実（後期実施計画・詳細は29ページ参照）」や「文化財学習センターの活用（後期実施計画・詳細は30ページ参照）」も並行して推進していきながら、自国（母国語）や故郷に愛着を持つとともに、自分の可能性を最大限に発揮できるような児童・生徒の育成を目指して、さらなる改善に向けて包括的に取組みを進めていくこととしております。</p>	<p>原案のとおり</p>